

2016 年度入学時アンケートの結果（報告）

IR センター／FD 委員会

I. アンケートの概要

2016 年 5 月～6 月に 1 年生を対象にユニパのアンケート機能を用いて実施した。アンケートは、回答者の属性、大学情報を得た手段(メディア、情報源など)、大学選びの際に重視した項目、入学理由志望順位およびその変化、大学・学科情報の参考度、入学前教育の評価、入学後の満足感と不安、学内の相談相手、卒業後の希望進路により構成されている。1073 名の回答が得られた（回答率 71.7%）。

II. 全体の傾向

1. 回答者の属性

回答者の総数と学科構成に加えて、性別・入試形態・居住形態を表 1-1、部活動・サークルの加入・ボランティア状況について表 1-2、留学の意図・アルバイト・奨学金の利用状況を表 1-3 に示す。

表1-1 回答者の属性(1)

	人数	性別		入試				居住形態		
		男性	女性	AO	推薦	一般	センター	自宅	自宅以外	
社会福祉学科	人数 %	357	166 46.50%	191 53.50%	27 7.56%	128 35.85%	140 39.22%	62 17.37%	171 47.90%	186 52.10%
福祉行政学科	人数 %	91	66 72.53%	25 27.47%	9 9.89%	27 29.67%	41 45.05%	14 15.38%	42 46.15%	49 53.85%
福祉心理学科	人数 %	60	11 18.33%	49 81.67%	6 10.00%	17 28.33%	29 48.33%	8 13.33%	30 50.00%	30 50.00%
産業福祉マネジメント学科	人数 %	57	43 75.44%	14 24.56%	4 7.02%	18 31.58%	28 49.12%	7 12.28%	36 63.16%	21 36.84%
情報福祉マネジメント学科	人数 %	73	53 72.60%	20 27.40%	5 6.85%	12 16.44%	42 57.53%	14 19.18%	47 64.38%	26 35.62%
教育学科	人数 %	222	55 24.77%	167 75.23%	25 11.26%	52 23.42%	117 52.70%	28 12.61%	112 50.45%	110 49.55%
保健看護学科	人数 %	68	7 10.29%	61 89.71%	11 16.18%	17 25.00%	31 45.59%	9 13.24%	36 52.94%	32 47.06%
リハビリテーション学科	人数 %	98	48 48.98%	50 51.02%	13 13.27%	21 21.43%	41 41.84%	23 23.47%	43 43.88%	55 56.12%
医療経営管理学科	人数 %	47	17 36.17%	30 63.83%	9 19.15%	9 19.15%	17 36.17%	12 25.53%	26 55.32%	21 44.68%
全学	人数 %	1073	466 43.43%	607 56.57%	109 10.16%	301 28.05%	486 45.29%	177 16.50%	543 50.61%	530 49.39%

表1-2 回答者の属性(2)

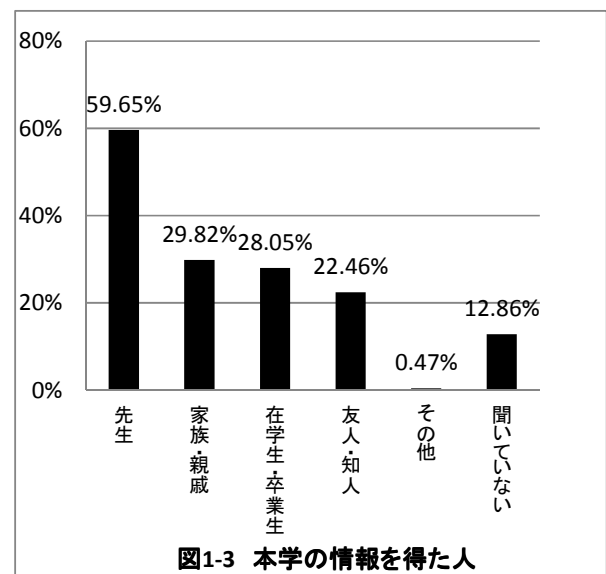
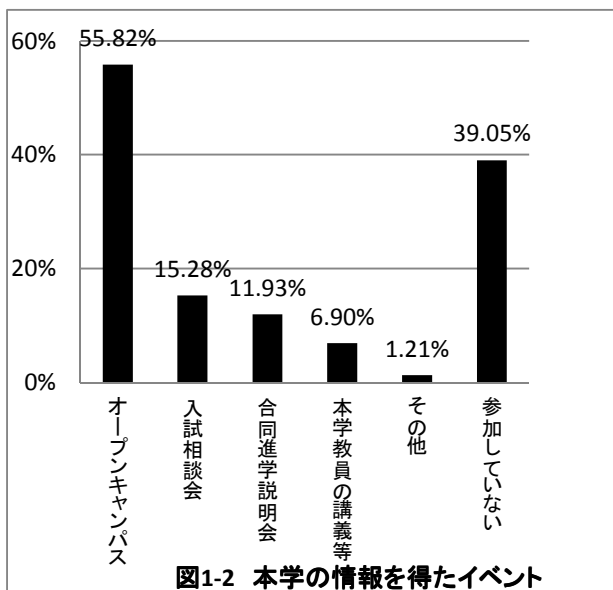
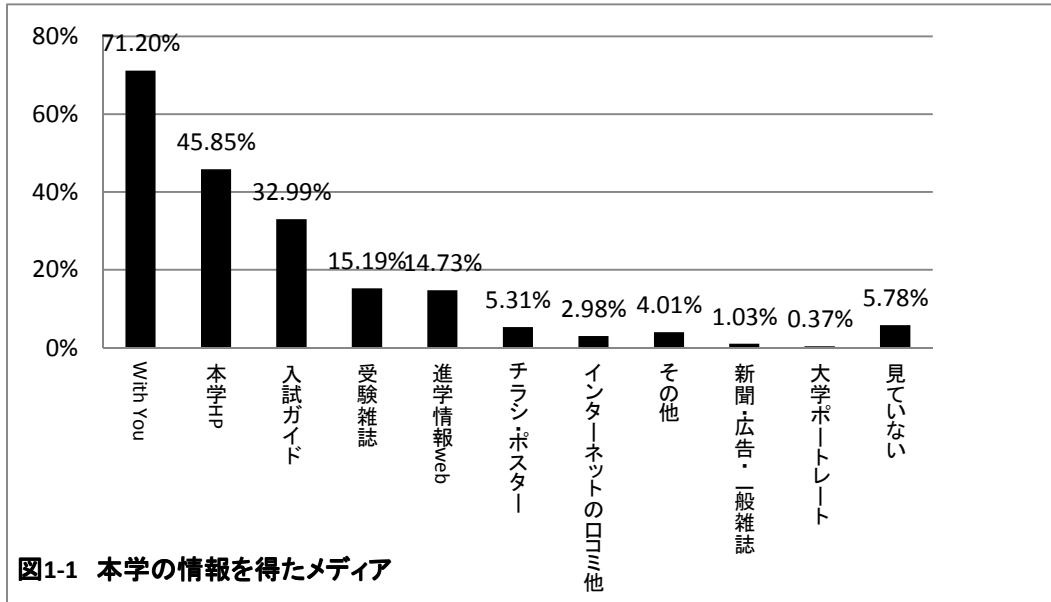
		人数	部活動・サークル(複数回答)					ボランティア		
			体育会加入	文化会加入	同好会加入	加入せず	未定	している(予定含む)	しない	未定
社会福祉学科	人数	357	82	186	81	10	37	232	17	108
	%		22.97%	52.10%	22.69%	2.80%	10.36%	64.99%	4.76%	30.25%
福祉行政学科	人数	91	21	32	39	0	8	59	3	29
	%		23.08%	35.16%	42.86%	0.00%	8.79%	64.84%	3.30%	31.87%
福祉心理学科	人数	60	8	38	21	2	5	43	2	15
	%		13.33%	63.33%	35.00%	3.33%	8.33%	71.67%	3.33%	25.00%
産業福祉マネジメント学科	人数	57	20	22	20	0	4	30	7	20
	%		35.09%	38.60%	35.09%	0.00%	7.02%	52.63%	12.28%	35.09%
情報福祉マネジメント学科	人数	73	17	39	17	4	12	36	6	31
	%		23.29%	53.42%	23.29%	5.48%	16.44%	49.32%	8.22%	42.47%
教育学科	人数	222	53	109	71	4	21	171	11	40
	%		23.87%	49.10%	31.98%	1.80%	9.46%	77.03%	4.95%	18.02%
保健看護学科	人数	68	11	35	16	7	8	40	3	25
	%		16.18%	51.47%	23.53%	10.29%	11.76%	58.82%	4.41%	36.76%
リハビリテーション学科	人数	98	23	30	26	14	16	57	5	36
	%		23.47%	30.61%	26.53%	14.29%	16.33%	58.16%	5.10%	36.73%
医療経営管理学科	人数	47	7	22	18	2	3	35	0	12
	%		14.89%	46.81%	38.30%	4.26%	6.38%	74.47%	0.00%	25.53%
全学	人数	1073	242	513	309	43	114	703	54	316
	%		22.55%	47.81%	28.80%	4.01%	10.62%	65.52%	5.03%	29.45%

表1-3 回答者の属性(3)

		人数	留学			アルバイト			奨学金	
			する(予定を含む)	しない	未定	している(これからしたい)	しない	未定	あり	なし
社会福祉学科	人数	357	15	247	95	294	28	35	204	153
	%		4.20%	69.19%	26.61%	82.35%	7.84%	9.80%	57.14%	42.86%
福祉行政学科	人数	91	2	52	37	80	3	8	54	37
	%		2.20%	57.14%	40.66%	87.91%	3.30%	8.79%	59.34%	40.66%
福祉心理学科	人数	60	5	36	19	55	1	4	41	19
	%		8.33%	60.00%	31.67%	91.67%	1.67%	6.67%	68.33%	31.67%
産業福祉マネジメント学科	人数	57	3	36	18	53	4	0	30	27
	%		5.26%	63.16%	31.58%	92.98%	7.02%	0.00%	52.63%	47.37%
情報福祉マネジメント学科	人数	73	7	36	30	61	5	7	37	36
	%		9.59%	49.32%	41.10%	83.56%	6.85%	9.59%	50.68%	49.32%
教育学科	人数	222	23	116	83	198	9	15	124	98
	%		10.36%	52.25%	37.39%	89.19%	4.05%	6.76%	55.86%	44.14%
保健看護学科	人数	68	10	34	24	59	3	6	50	18
	%		14.71%	50.00%	35.29%	86.76%	4.41%	8.82%	73.53%	26.47%
リハビリテーション学科	人数	98	5	67	26	59	20	19	51	47
	%		5.10%	68.37%	26.53%	60.20%	20.41%	19.39%	52.04%	47.96%
医療経営管理学科	人数	47	2	34	11	41	2	4	22	25
	%		4.26%	72.34%	23.40%	87.23%	4.26%	8.51%	46.81%	53.19%
全学	人数	1073	72	658	343	900	75	98	613	460
	%		6.71%	61.32%	31.97%	83.88%	6.99%	9.13%	57.13%	42.87%

2. 本学の情報を得た手段

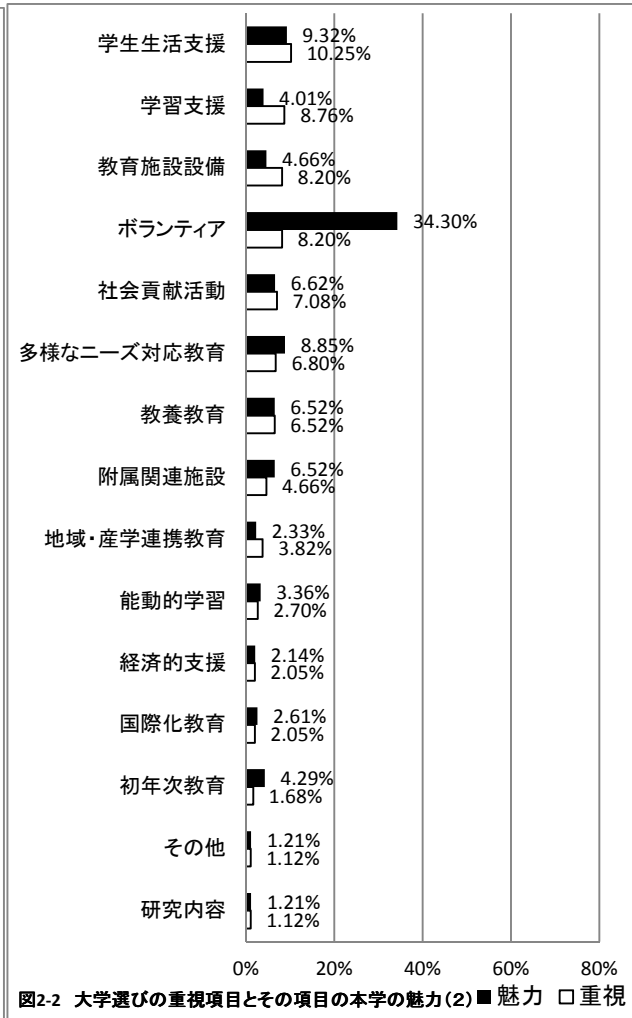
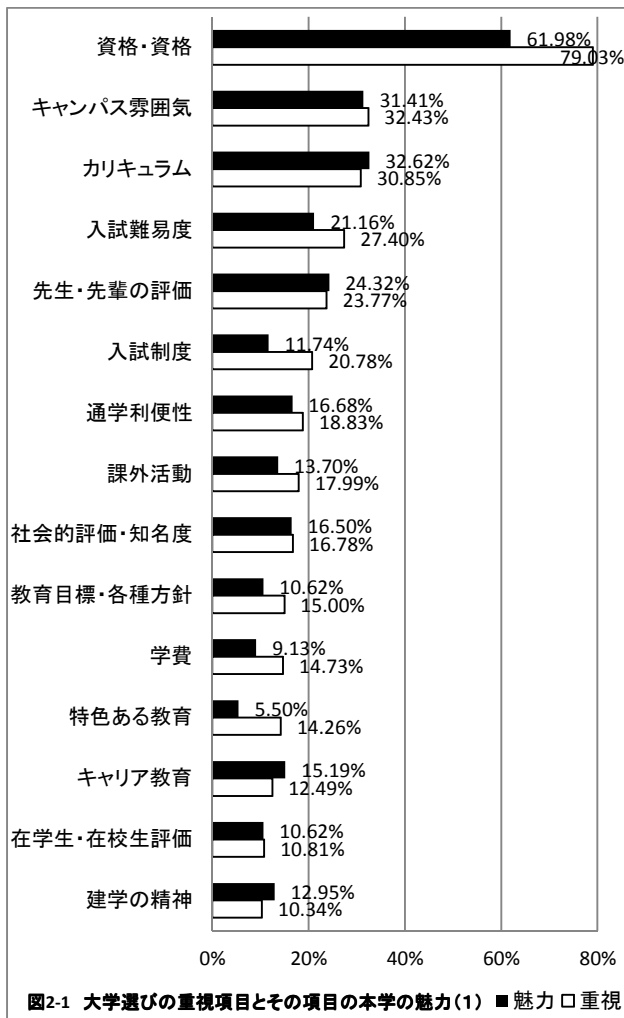
本学の情報を得た手段について、図 1-1 から図 1-3 に示す。メディアとしては With You が最もよく見られており、次いで大学 HP であった。イベントとしてはオープンキャンパスのみが 50% を超えるものであった。メディア・イベント共に、一般の受験誌やネット情報、イベントよりも本学が直接発信したメディア・イベントから本学の情報を得ようとしていることが伺えた。情報を得た人として家族・在学生と同程度に友人・知人が挙げられており、受験生間での情報共有が行われていることもしくは同年代他者による第三者的評価も参考とする情報になっていることが伺えた。



3. 大学選びの際に重視した項目、魅力を感じた事項

図 2-1 と図 2-2 に示す。グラフ中の黒棒が魅力度、白棒が重視度を示す。入学前に特に重視されていたのは、「資格」であり、およそ 8 割が重視したと回答していた。次いで「キャンパスの雰囲気」「カリキュラム」となっていた。また、魅力を感じた項目もその程度に応じた順位は重視度と類似した傾向であるといえよう。重視した程度よりも魅力が上回ったのは「ボランティア活動」に対する評価であり、魅力を感じた程度だけに絞った場合でも、「資格」に次ぐ魅力の高さを示していた。

本項目は昨年度とは異なる調査項目を用いており単純な比較はできないが、過年度調査と同様の傾向であったのは「経済的支援」が大学選びの際に重視されていない事であった。



4. 入学理由と志望順位、志望の変化

本学の入学目的を図 3-1 に示す。「やりたい仕事ややりたい職業につくため」を 6 割を超える者が理由として選択しており、入学前に卒業後の進路についても見通して入学している傾向がこの項目からは示された。

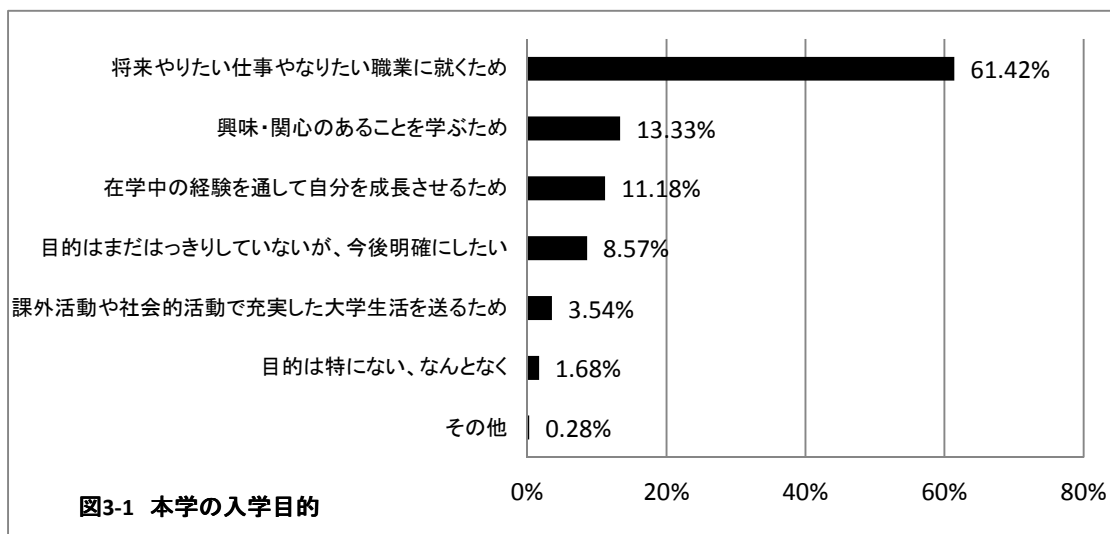
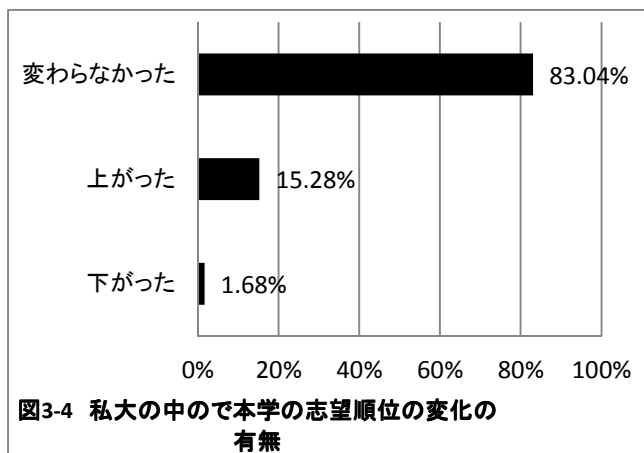
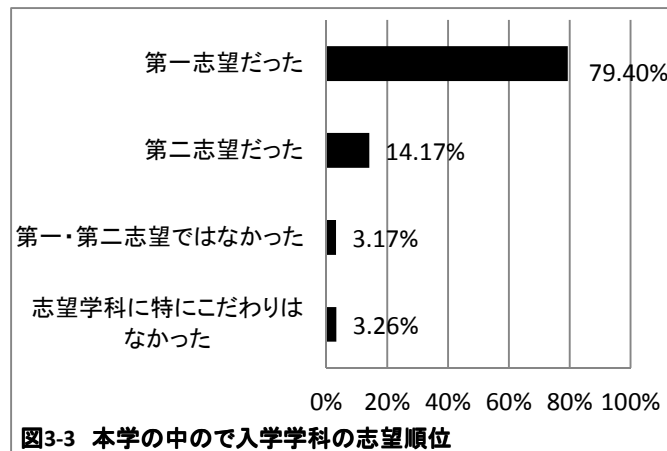
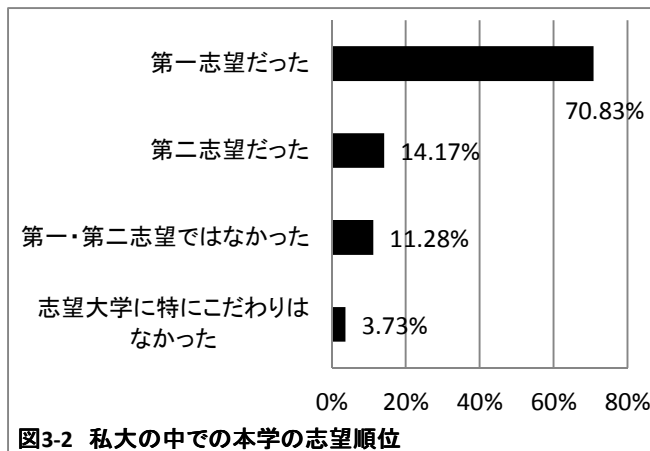
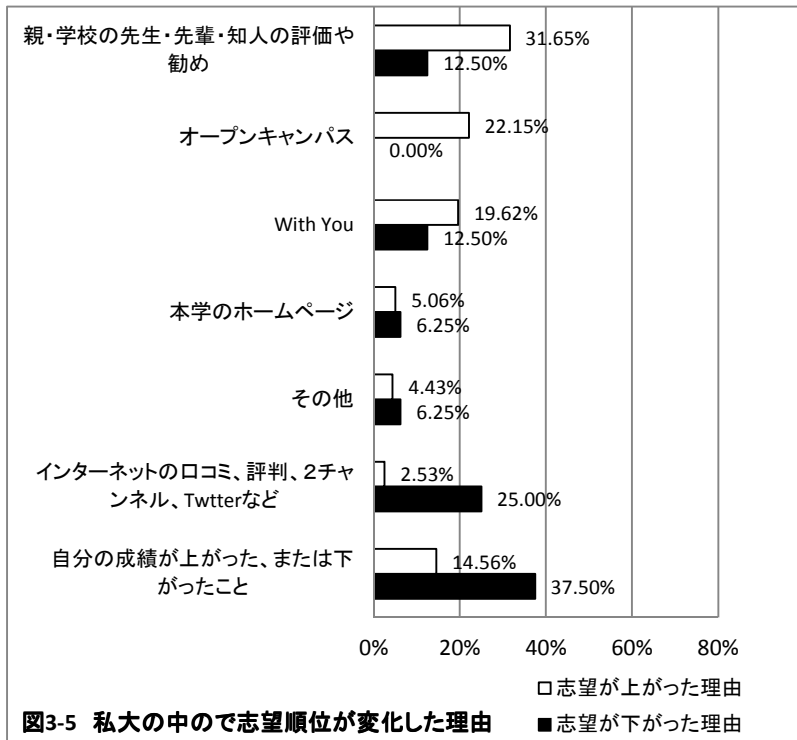


図 3-2 から図 3-5 に、大学の志望順位と学科の志望順位、大学志望の変化とその理由を示した。本学を第一希望としその希望に変化なく入学した者が多いことが示された。また、第 3 希望以下であったり特に大学へのこだわりがなかった者が 10%程度いることも明らかとなった。

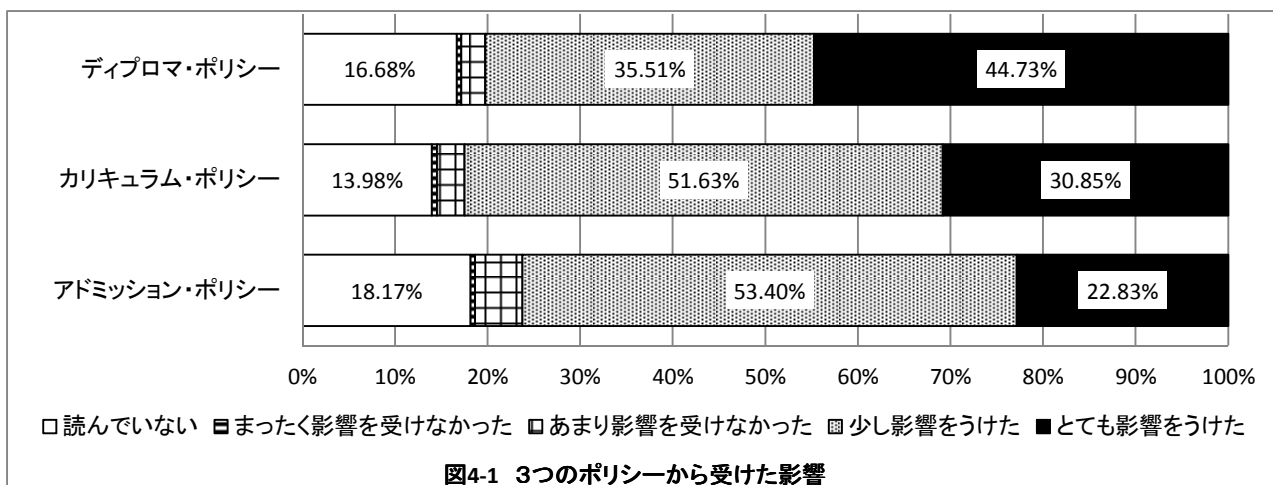


大学志望変化の理由については、オープンキャンパスや With you といった大学が直接発信する情報に触れることや親・教師・友人などの「個人が特定され、実際に対面して話す相手」からの情報によって志望があがることが示されたが、同じく他者からの情報であっても「ネット情報」は志望を下げる要因となる事が示された。

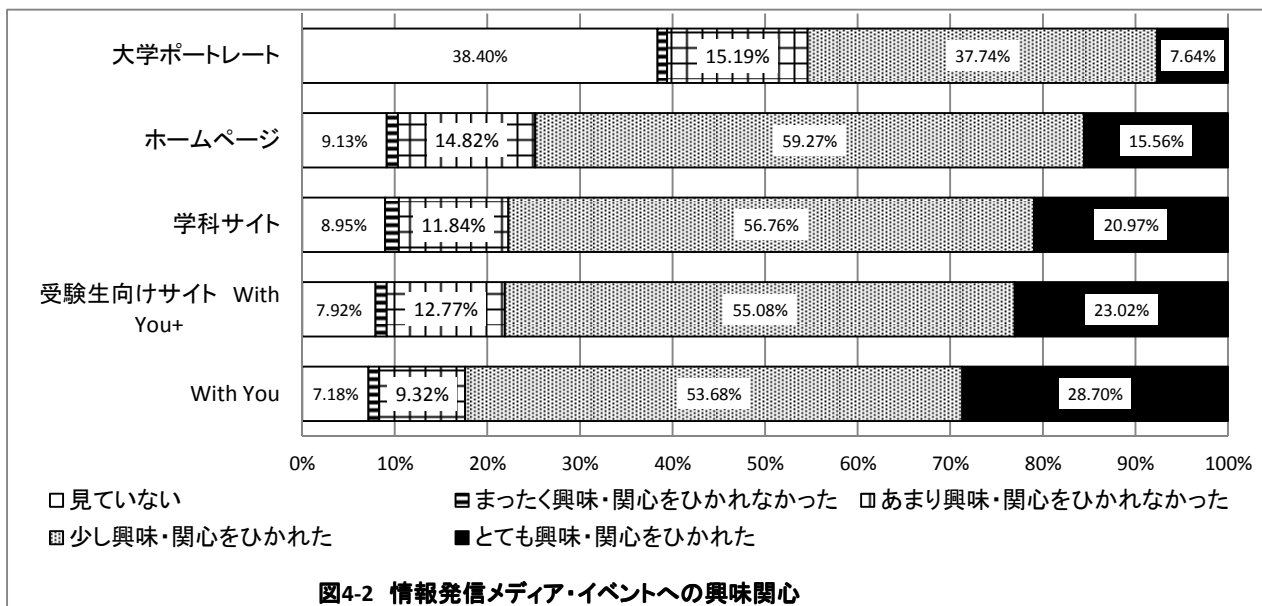


5. 大学・学科情報の参考度

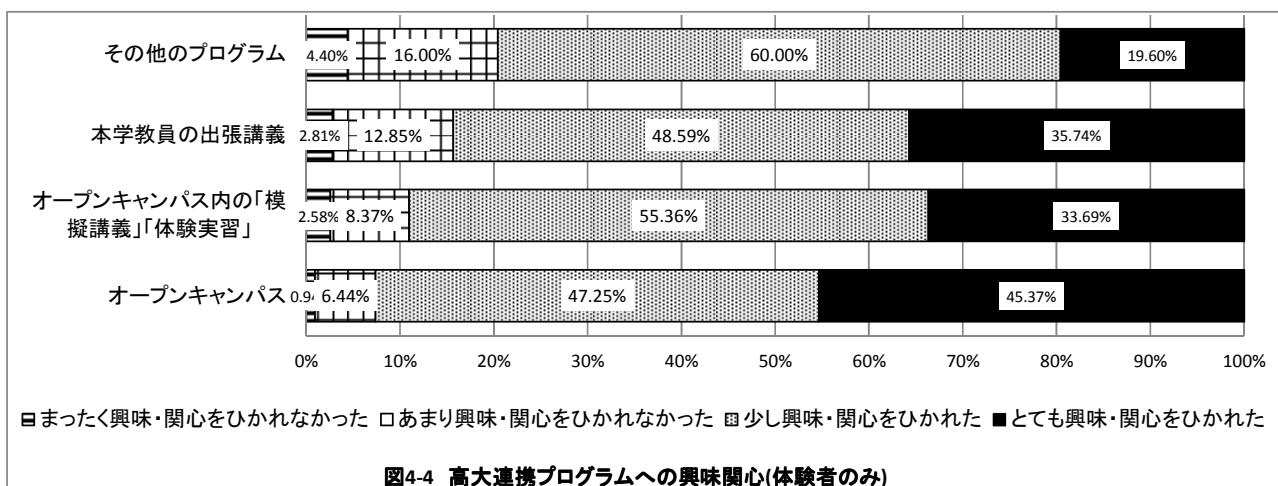
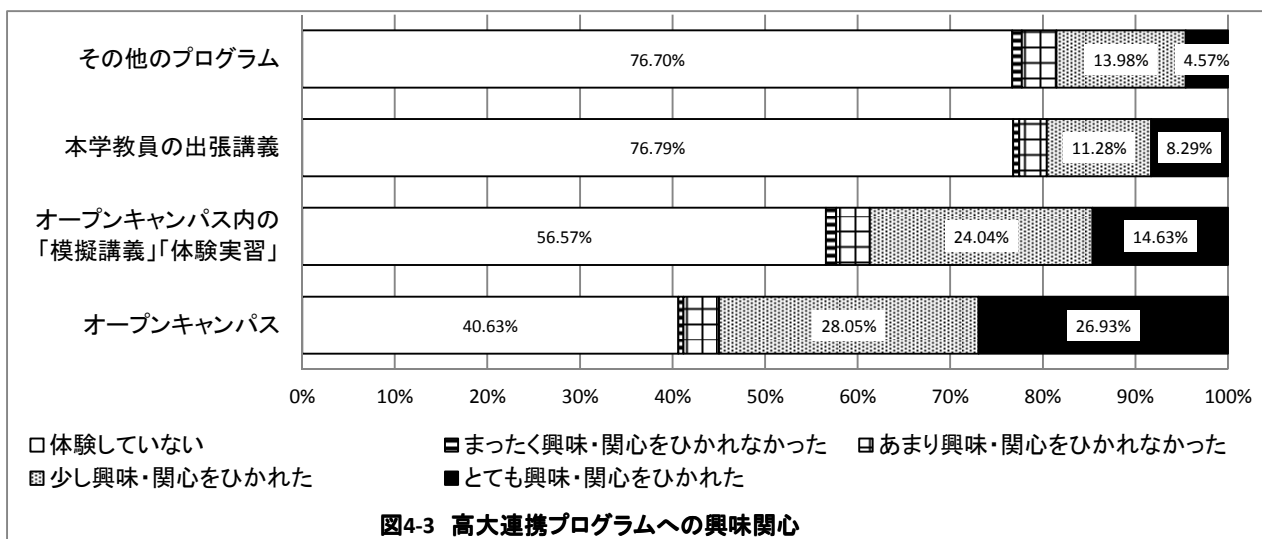
本学の3つのポリシーを読んで受けた影響度について図4-1に示す。3つのポリシーについて「少しでも参考にした者」は3つのポリシーとも8割程度と同程度であったが、「とても影響を受けた」という評価だけ見ればディプロマポリシーが最も高く、「どのような力を身に付けて卒業するのか」「どのような人材を養成しようとしているのか」についてより強く興味関心をもたれていることが示されたといえよう。



大学情報を発信するメディアの興味関心度を図 4-2 に示した。大学ポータルが最も参考にされていないことが示され、また With You や本学 HP を全く見ていないという者も 10%程度いる事も明らかとなった。

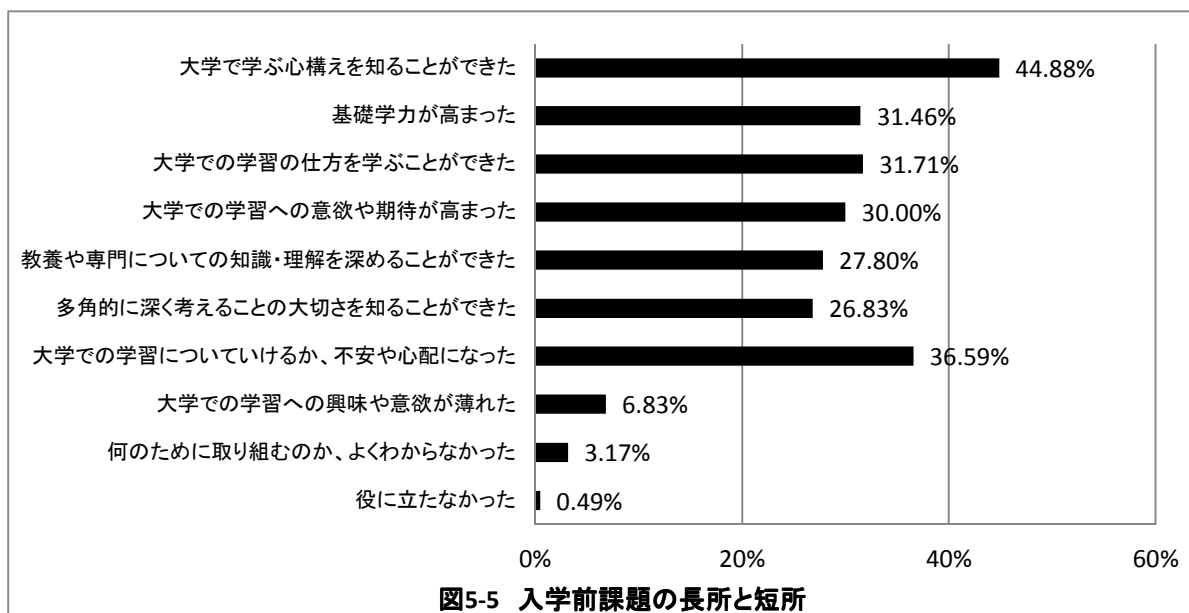
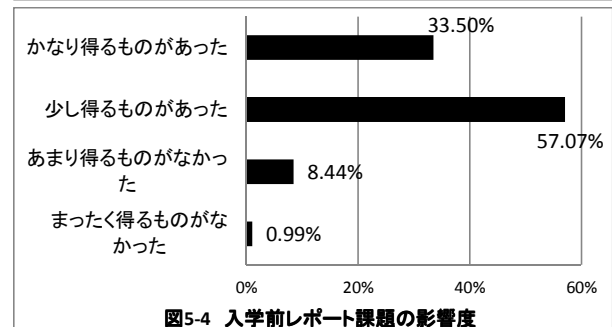
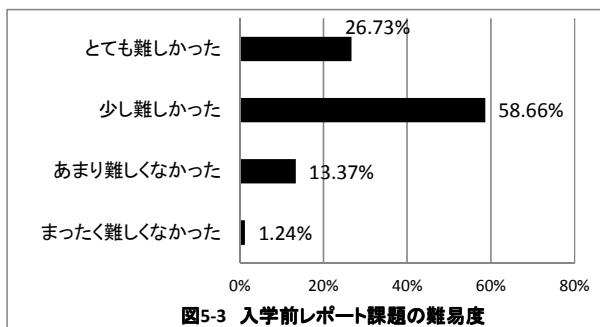
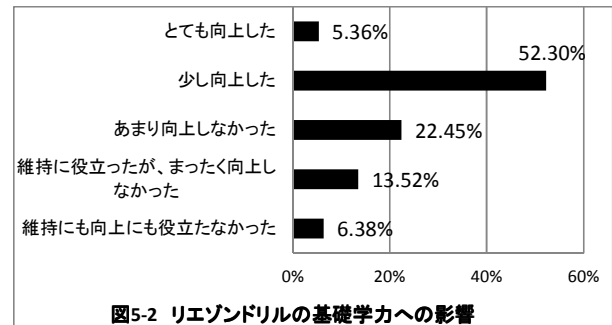
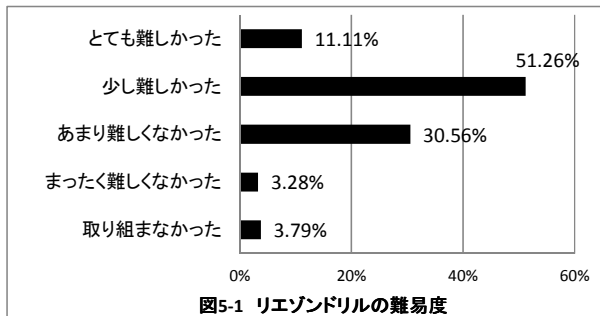


高大連携プログラムの興味関心について図 4-3、図 4-4 に示した。特に図 4-4 より、体験した者についてはその多くが興味関心をもったことが示された。



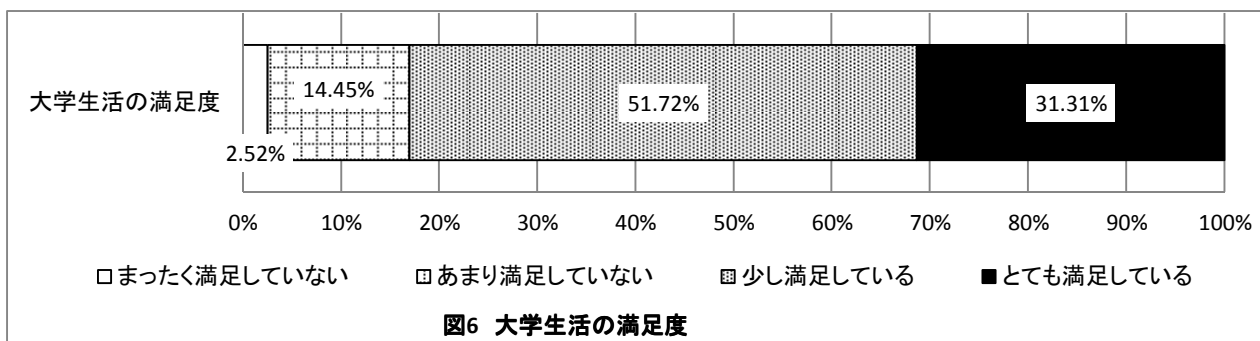
6. 入学前教育

AO入試と推薦入試の合格者に対して行われた入学前教育について、リエゾンドリルに関して図5-1と図5-2、レポート課題について図5-3と5-4、入学前教育の長所と短所に対する評価について図5-5に示した。リエゾンドリル、レポート課題とも「少し難しかったが得ることもあった」という回答が多かった。ただし、リエゾンドリルよりもレポート課題の方が「より難しいので得る者も多い」という回答傾向も見受けられた。また、リエゾンドリルについては「(基礎的能力の)向上には役立たなかった」という回答も半数弱であった。入学前の基礎学力の状態にも個人差があるため、一律・共通に感じられる難易度設定は難しいことも示唆された。

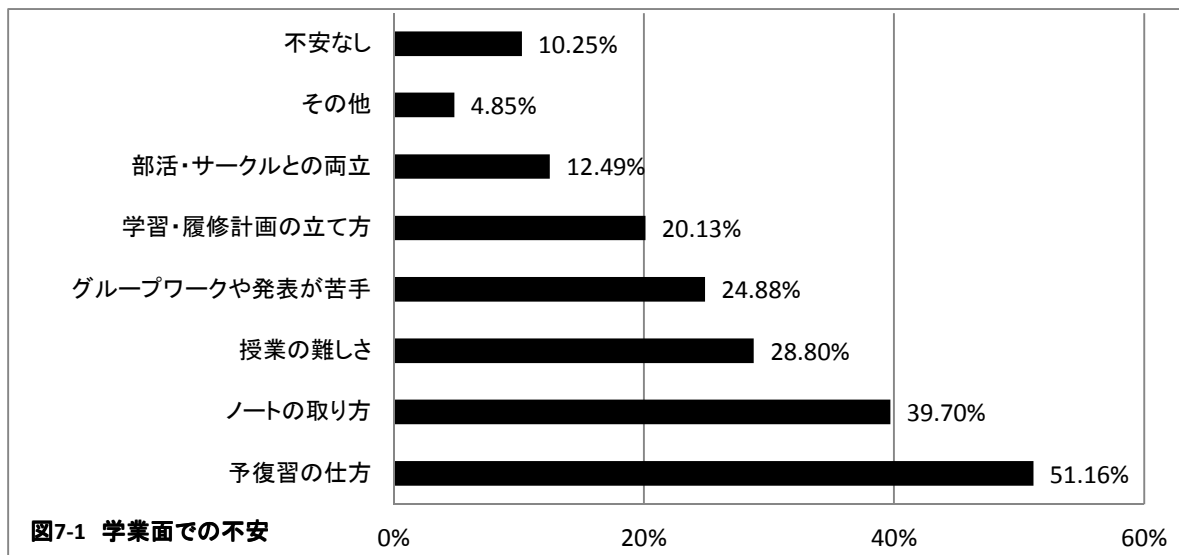


7. 大学生生活の満足度と入学後の不安について

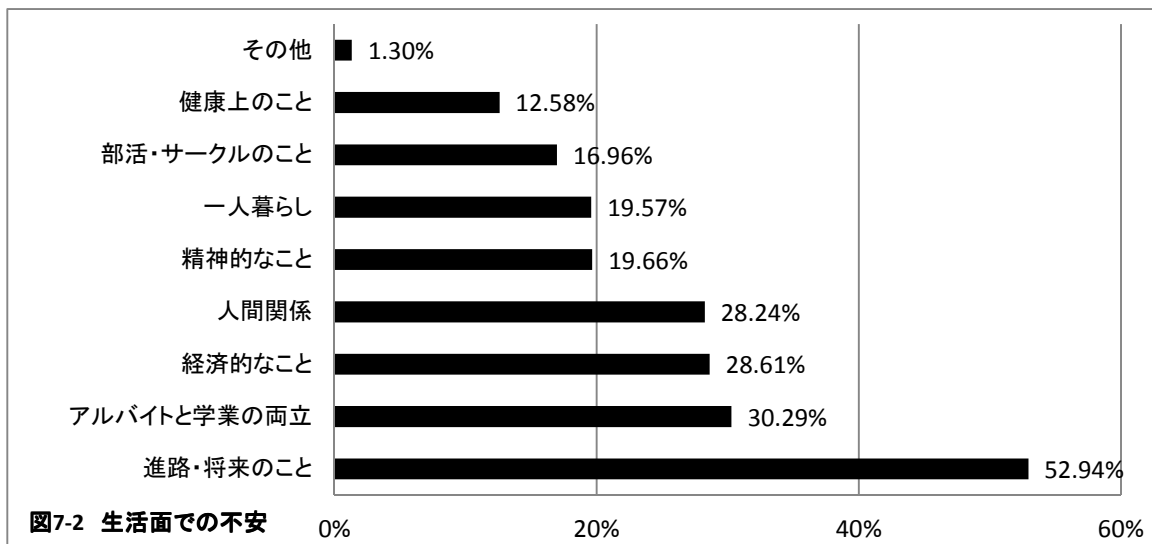
大学生生活の満足度について図6に示した。



入学後の学業面での不安について図7-1にまとめた。なお回答は表4に示す7項目に対する複数回答である。これより、「予習復習の仕方」、「ノートを取り方」、「授業のむずかしさ」の順に不安を感じていることが明らかとなった。これら全体的な傾向は過年度入学者とほぼ同様であった。

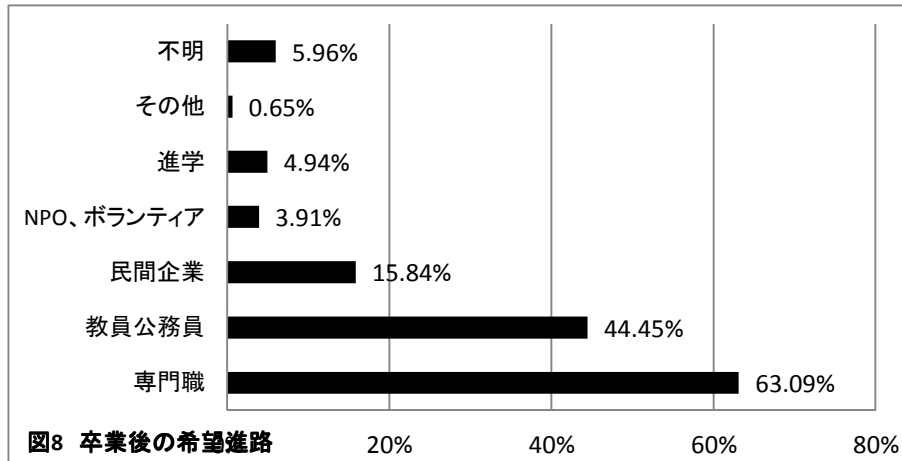


入学後の現在の生活面での不安について図7-2にまとめた。これより、「将来・進路に関する不安」が最も高い不安として示され、それに次いで「経済面」「アルバイトと学業の両立」「人間関係」が同程度の高さを示した。これらは昨年度入学者と同じ傾向であった。



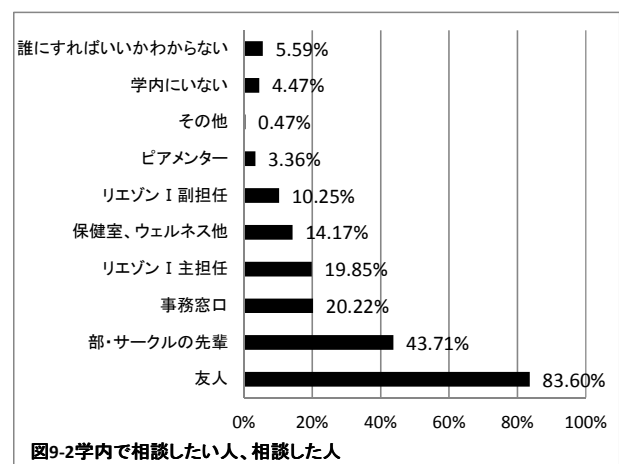
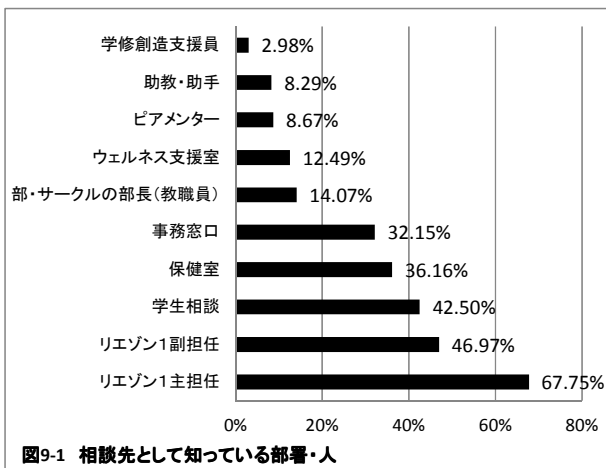
8. 卒業後の希望進路

卒業後に希望する進路について図 8 にまとめた。「専門職」の希望が最も多いことが全学的な傾向であることが明らかとなっており、次いで、「教員公務員」「民間企業」となっていた。これら全体的な傾向は過年度入学者と同様であった。

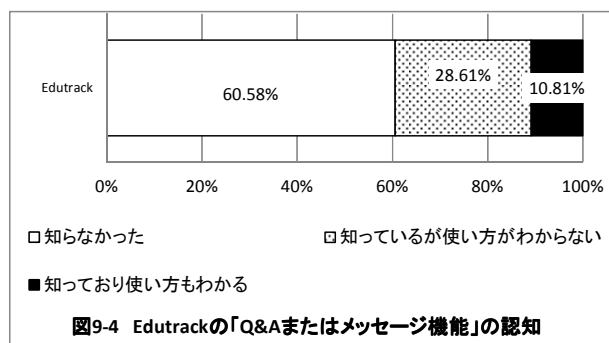
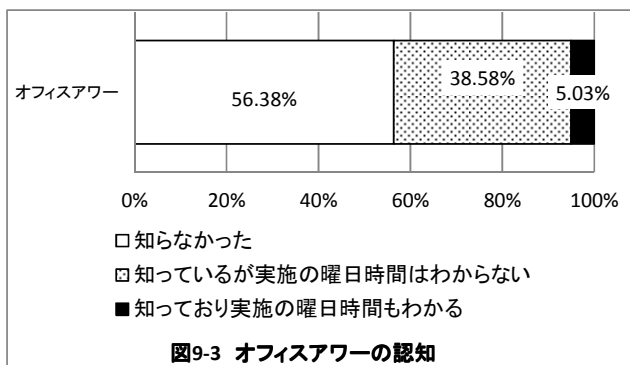


9. 学内の相談相手

学内の相談相手について、学内の相談先として知っている人・部署について図 9-1 に、実際に相談したあるいは相談したい人・部署について図 9-2 にまとめた。相談先として挙げられるのはリエゾンゼミ I の主担任であったが、実際に相談している相手としては友人や先輩という学生同士の関係がまず挙げられ、次いで事務窓口、そしてリエゾンゼミ I の主担任であることが示された。また、「学内に相談相手がない、学内で誰かに相談したらよいかわからない」をあわせると、およそ 1 割となることも明らかとなった。この傾向は過年度入学者と同様の傾向を示していた。



続いて、オフィスアワーと Edutrack 「Q&A またはメッセージ機能」の利用に関して図 9-3 と図 9-4 にまとめた。どちらも半数以上が「知らなかった」と答えており、また「知っていて使っている」という者は少ないことが示された。リエゾンゼミ I の主担任について、先の「相談先として知っているか、相談したか」ということと併せて考えると、相談行動には相談相手との身近さ・気軽さが相談行動へとつながっていることが示唆され、リエゾンゼミ I の主担任には「相談先だとは思うけれど、いつ相談に行ったらよいかわからない」という状況にあることが示されたといえよう。



10. 志望順位及び大学満足度を用いて弁別した学生の特徴

ここからは、「入学前」に関する調査項目である「大学の志望順位」と、「入学後」に関する調査項目である「大学満足度」を用い、入学者を分類してその特徴を明らかとすることを目的とする。

大学の志望順位については「第一志望」と「第二志望以下」で区分し、大学満足度については「とても満足している、少し満足している」を「満足している」、「あまり満足していない、全く満足していない」を「満足していない」と区分した。これら2項目を組み合わせることで4群を作成した。その度数集計を表2-1に、性別とのクロス集計を表2-2に示す。これより「入学前に第一志望で入学後にも満足している」というものが6割と最も多かった。次いで「第二志望以下だったが満足している」者2割、「第一志望だったが満足していない」者が1割ということとなった。

表2-1 志望順位と満足度による群分け

	人数	%
満足している&第1志望	655	61.0
満足している&第2志望以下	236	22.0
満足していない&第1志望	105	9.8
満足していない&第2志望以下	77	7.2
合計	1073	100.0

表2-2 大学の志望順位及び満足度と性別との関連

		満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
性別	男	243	37.1%	122	51.7%	46	43.8%	55	71.4%	466	43.4%
	女	412	62.9%	114	48.3%	59	56.2%	22	28.6%	607	56.6%

$$\chi^2(3)=41.82, p<.01$$

入試形態との関連について表2-3にまとめた。入学後の満足不満足問わず、第一志望の者にAO入試と推薦入試が多く、第二志望以下の者に一般入試とセンター入試が多いということが示された。

表2-3 大学の志望順位及び満足度と入試形態との関連

		満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
入試	AO入試	87	13.3%	1	.4%	17	16.2%	4	5.2%	109	10.2%
	推薦入試	236	36.0%	21	8.9%	36	34.3%	8	10.4%	301	28.1%
	一般入試	251	38.3%	155	65.7%	40	38.1%	40	51.9%	486	45.3%
	センター入試	81	12.4%	59	25.0%	12	11.4%	25	32.5%	177	16.5%

$$\chi^2(9)=150.98, p<.01$$

入学した学科との関連について表 2-4 に示す。

表2-4 大学の志望順位及び満足度と学科との関連

学科		満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
		社会福祉学科	222	33.9%	77	32.6%	36	34.3%	22	28.6%	357
福祉行政学科	50	7.6%	17	7.2%	11	10.5%	13	16.9%	91	8.5%	
福祉心理学科	40	6.1%	12	5.1%	7	6.7%	1	1.3%	60	5.6%	
産業福祉マネジメント学科	21	3.2%	22	9.3%	8	7.6%	6	7.8%	57	5.3%	
情報福祉マネジメント学科	27	4.1%	26	11.0%	7	6.7%	13	16.9%	73	6.8%	
教育学科	144	22.0%	47	19.9%	21	20.0%	10	13.0%	222	20.7%	
保健看護学科	46	7.0%	16	6.8%	5	4.8%	1	1.3%	68	6.3%	
リハビリテーション学科	75	11.5%	11	4.7%	4	3.8%	8	10.4%	98	9.1%	
医療経営管理学科	30	4.6%	8	3.4%	6	5.7%	3	3.9%	47	4.4%	

本学の情報を得たメディアとの関連を表 3-1 に示す。「第二志望以下で満足している」群において、WithYou や大学 HP を「見ていない」と回答する者が他の群よりも多いことが示された。また、第一志望である 2 つの群の間ではメディアからの情報入手に特に違いがなかった。このことは「情報を得ることで入学後の適応が導かれる」「情報を得ず入学したことすることが入学後に示す問題に結びつく」というどちらの可能性も支持しない結果であると考えられよう。

表3-1 大学の志望順位及び満足度と本学の情報を得たメディアとの関連

メディア		満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		χ ² 検定結果
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
		WithYou	514	78.5%	37	48.1%	80	76.2%	133	56.4%	764	
入試ガイド	245	37.4%	16	20.8%	35	33.3%	58	24.6%	354	33.0%	χ ² (3)=18.53, p<.01	
HP	334	51.0%	23	29.9%	44	41.9%	91	38.6%	492	45.9%	χ ² (3)=20.61, p<.01	
受験誌	87	12.4%	16	20.8%	17	16.2%	49	20.8%	163	15.2%	χ ² (3)=11.69, p<.01	
見ていない	22	3.4%	17	22.1%	2	1.9%	21	8.9%	62	5.8%	χ ² (3)=51.73, p<.01	

注: 表中の数字は各群においてその項目を「見たor該当する」と答えた者の人数及びその割合

本学の情報を得たイベントとの関連を表 3-2 に示す。本学を第一志望とした者はイベントに参加し、第二志望以下の者は参加しないということが明らかとなった。

表3-2 大学の志望順位及び満足度と本学の情報を得たイベントとの関連

イベント		満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		χ ² 検定結果
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
		オープンキャンパス	453	69.2%	13	16.9%	71	67.6%	62	26.3%	599	
入学相談会	125	19.1%	4	5.2%	20	19.0%	15	6.4%	164	15.3%	χ ² (3)=29.04, p<.01	
合同説明会	91	13.9%	4	5.2%	18	17.1%	15	6.4%	128	11.9%	χ ² (3)=15.42, p<.01	
参加していない	174	26.6%	58	75.3%	30	28.6%	157	66.5%	419	39.0%	χ ² (3)=165.17, p<.01	

注: 表中の数字は各群においてその項目に「参加したor該当する」と答えた者の人数及びその割合

本学の情報を得た人との関連を表 3-3 に示す。「第一志望であり満足している」群で他の群よりも本学在学学生及び卒業生から情報を得ていたことが明らかとなった。また、第二志望以下の者が第一志望よりも誰からも情報を得ていないと答えていることが明らかとなった。

表3-3 大学の志望順位及び満足度と本学の情報を得た人との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		χ ² 検定結果
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
情報入手先	213	32.5%	14	18.2%	26	24.8%	48	20.3%	301	28.1%	χ ² (3)=17.71, p<.01
本学在学学生・OB	70	10.7%	15	19.5%	14	13.3%	39	16.5%	138	12.9%	χ ² (3)=8.62, p<.05
聞いていない											

注:表中の数字は各群においてその項目から「話を聞いたor該当する」と答えた者の人数及びその割合

大学選びの際に重視した項目との関連を表 4-1 に示す。「第二志望以下であり満足していない」群は「大学の特色、大学の雰囲気重視していない」「本学の特色とされることが多いボランティア活動を重視していない」、その一方で「知名度を重視する」ということが示された。また、第二志望以下の者は第一志望の者よりも「難易度」を重視していた。「第二志望以下で満足している」群は特に「学費」について他の群よりも重視することが明らかとなった。

表4-1 大学の志望順位及び満足度と大学選びの際に重視した項目の関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		χ ² 検定結果
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
資格	543	82.9%	181	76.7%	81	77.1%	43	55.8%	848	79.0%	χ ² (3)=31.90, p<.01
特色	112	17.1%	26	11.0%	9	8.6%	6	7.8%	153	14.3%	χ ² (3)=11.76, p<.01
ボランティア活動	198	30.2%	41	17.4%	26	24.8%	5	6.5%	270	25.2%	χ ² (3)=30.79, p<.01
雰囲気	253	38.6%	66	28.0%	21	20.0%	8	10.4%	348	32.4%	χ ² (3)=38.09, p<.01
難易度	149	22.7%	86	36.4%	24	22.9%	35	45.5%	294	27.4%	χ ² (3)=30.53, p<.01
学費	86	13.1%	48	20.3%	11	10.5%	13	16.9%	158	14.7%	χ ² (3)=9.05, p<.05
知名度	100	15.3%	39	16.5%	20	19.0%	21	27.3%	180	16.8%	χ ² (3)=7.54, p<.10

注:表中の数字は各群においてその項目を「重視する」と答えた者の人数及びその割合

本学の魅力との関連について表 4-2 に示す。先の重視事項に関する結果と同様、第二志望以下の者は第一志望の者よりも「難易度」に魅力を感じ、「第二志望以下で満足している」群は特に「学費」について他の群よりも魅力を感じたことが明らかとなった。

表4-2 大学の志望順位及び満足度と本学に対して魅力を感じた項目の関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		χ ² 検定結果
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
理念	105	16.0%	20	8.5%	9	8.6%	5	6.5%	139	13.0%	χ ² (3)=14.34, p<.01
カリキュラム	247	37.7%	67	28.4%	27	25.7%	9	11.7%	350	32.6%	χ ² (3)=27.27, p<.01
資格	429	65.5%	143	60.6%	59	56.2%	34	44.2%	665	62.0%	χ ² (3)=15.50, p<.01
教養教育	52	7.9%	12	5.1%	6	5.7%	0	.0%	70	6.5%	χ ² (3)=8.44, p<.05
特色	47	7.2%	9	3.8%	3	2.9%	0	.0%	59	5.5%	χ ² (3)=10.73, p<.05
多様なニーズ	71	10.8%	19	8.1%	5	4.8%	0	.0%	95	8.9%	χ ² (3)=13.05, p<.01
課外活動	104	15.9%	25	10.6%	13	12.4%	5	6.5%	147	13.7%	χ ² (3)=8.09, p<.05
ボランティア活動	271	41.4%	60	25.4%	28	26.7%	9	11.7%	368	34.3%	χ ² (3)=42.98, p<.01
関連施設	55	8.4%	6	2.5%	8	7.6%	1	1.3%	70	6.5%	χ ² (3)=13.56, p<.01
雰囲気	246	37.6%	56	23.7%	25	23.8%	10	13.0%	337	31.4%	χ ² (3)=32.90, p<.01
難易度	116	17.7%	69	29.2%	15	14.3%	27	35.1%	227	21.2%	χ ² (3)=28.81, p<.01
学費	55	8.4%	32	13.6%	5	4.8%	6	7.8%	98	9.1%	χ ² (3)=8.58, p<.05

注:表中の数字は各群においてその項目に「魅力を感じた」と答えた者の人数及びその割合

入学目的との関連を表 5-1 に示す。「第一志望で満足していない」群に焦点をあてると、「興味関心のあることを学ぶため」という理由においては「満足している」という 2 つの群と類似した回答率はあるものの、「目的はまだはっきりしていないので今後明確にしたい」という理由では「満足している」という 2 つの群よりも高い回答率となっている。これより「第一志望で満足していない」群においては、「第一志望ではあるものの、何を学ぶかということがはっきりしていない」状態であるという可能性が示されたといえよう。

表5-1 大学の志望順位及び満足度と入学目的との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
入学目的	興味・関心のあることを学ぶため	84	12.8%	34	14.4%	18	17.1%	7	9.1%	143	13.3%
	将来やりたい仕事ややりたい職業に就くため	438	66.9%	134	56.8%	52	49.5%	35	45.5%	659	61.4%
	在学中の経験を通して自分を成長させるため	71	10.8%	28	11.9%	12	11.4%	9	11.7%	120	11.2%
	課外活動や社会的活動で充実した大学生活を送るため	24	3.7%	10	4.2%	3	2.9%	1	1.3%	38	3.5%
	目的はまだはっきりしていないが、今後明確にしたい	34	5.2%	27	11.4%	16	15.2%	15	19.5%	92	8.6%
	目的は特にない、なんとなく	4	0.6%	2	0.8%	2	1.9%	10	13.0%	18	1.7%
	その他	0	0.0%	1	0.4%	2	1.9%	0	0.0%	3	0.3%

$$\chi^2(18)=117.32, p<.01$$

志望順位変化との関連を表 5-2 に示した。特に「第二志望以下で満足していない群」において他の群よりも「本学の志望順位は下がったものの本学に入学した」という者が多いことが明らかとなった。

表5-2 大学の志望順位及び満足度と私大の中での志望順位変化との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
私大内 順位	変わらなかった	558	85.2%	183	77.5%	88	83.8%	62	80.5%	891	83.0%
	上がった	94	14.4%	51	21.6%	12	11.4%	7	9.1%	164	15.3%
	下がった	3	0.5%	2	0.8%	5	4.8%	8	10.4%	18	1.7%

$$\chi^2(6)=58.37, p<.01$$

国公立大学の受験の有無との関連を表 5-3 に示す。第 2 志望以下の者のほうが第一志望の者よりも国公立大学を受験していたことが明らかとなった。

表5-3 大学の志望順位及び満足度と国公立受験有無との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
国公立	受験していない	524	80.0%	115	48.7%	85	81.0%	44	57.1%	768	71.6%
	受験した	131	20.0%	121	51.3%	20	19.0%	33	42.9%	305	28.4%

$$\chi^2(3)=95.82, p<.01$$

アドミッションポリシーからの影響度との関連を表 6-1 に示す。「第二志望以下で満足していない」群では「読んでいない」という回答が多く、「とても入りたい」という回答が少ないことが示された。また、「第二志望以下で満足している」群は、第一志望の者と同程度に「読んだうえで少し入りたい」と評価したことも明らかとなった。

表6-1 大学の志望順位及び満足度とアドミッションポリシーからの影響との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
アドミ ッション ポリ シー	読んでいない	91	13.9%	47	19.9%	23	21.9%	34	44.2%	195	18.2%
	まったく入りたいと思わなかった	0	.0%	2	.8%	2	1.9%	1	1.3%	5	.5%
	あまり入りたいと思わなかった	22	3.4%	22	9.3%	4	3.8%	7	9.1%	55	5.1%
	少し入りたいと思った	343	52.4%	137	58.1%	60	57.1%	33	42.9%	573	53.4%
	とても入りたいと思った	199	30.4%	28	11.9%	16	15.2%	2	2.6%	245	22.8%

$\chi^2(12)=109.03, p<.01$

カリキュラムポリシーからの影響度との関連を表 6-2 に示す。先と同じく「第二志望以下で満足していない」群では「読んでいない」という回答が多く、「とても学んでみたい」という回答が少ないことが示された。また、「第二志望以下で満足している」群は、第一志望の者と同程度に「読んだうえで少し学んでみたい」と評価したことも明らかとなった。

表6-2 大学の志望順位及び満足度とカリキュラムポリシーからの影響との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
カリ キュラ ムポリ シー	読んでいない	67	10.2%	34	14.4%	23	21.9%	26	33.8%	150	14.0%
	まったく学んでみたいと思わなかった	0	.0%	1	.4%	2	1.9%	3	3.9%	6	.6%
	あまり学んでみたいと思わなかった	15	2.3%	6	2.5%	6	5.7%	5	6.5%	32	3.0%
	少し学んでみたいと思った	312	47.6%	150	63.6%	54	51.4%	38	49.4%	554	51.6%
	とても学んでみたいと思った	261	39.8%	45	19.1%	20	19.0%	5	6.5%	331	30.8%

$\chi^2(12)=118.36, p<.01$

ディプロマポリシーからの影響度との関連を表 6-3 に示す。先と同じく「第二志望以下で満足していない」群では「読んでいない」という回答が多く、「とても学んでみたい」という回答が少ないことが示された。また、「第二志望以下で満足している」群は「第一志望で満足している」群に次ぎ「とても身に着けたい」と評価しており、群内でも「少し身に付けたい」よりも「とても身に付けたい」という評価のほうが多いことが明らかとなった。一方で「第一志望で満足していない群」では「とても身に着けたい」という評価が「第二志望以下で満足していない」群と同程度であり、群内でも「少し身に付けたい」が「とても身に付けたい」より多いことが明らかとなった。

表6-3 大学の志望順位及び満足度とディプロマポリシーからの影響との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
ディ プロ マポ リシー	読んでいない	89	13.6%	39	16.5%	22	21.0%	29	37.7%	179	16.7%
	まったく身に付けたいと思わなかった	1	.2%	3	1.3%	0	.0%	1	1.3%	5	.5%
	あまり身に付けたいと思わなかった	13	2.0%	5	2.1%	4	3.8%	6	7.8%	28	2.6%
	少し身に付けたいと思った	212	32.4%	92	39.0%	51	48.6%	26	33.8%	381	35.5%
	とても身に付けたいと思った	340	51.9%	97	41.1%	28	26.7%	15	19.5%	480	44.7%

$\chi^2(12)=75.84, p<.01$

WithYou への興味関心との関連を表 6-4 に示す。先と同じく「第二志望以下で満足していない」群では「見ていない」という回答が多く、「とても興味関心をひかれた」という回答が少ないことが示された。また、「第二志望以下で満足している」群は、第一志望の者と同程度に興味関心をひかれたと評価したことも明らかとなった。また、「第一志望であり満足していない」群は「第一志望であり満足している」群よりも興味関心度が相対的に低いことも示された。

表6-4 大学の志望順位及び満足度とWithYouへの興味関心との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
見ていない	27	4.1%	24	10.2%	6	5.7%	20	26.0%	77	7.2%
まったく興味関心をひかれなかった	2	.3%	1	.4%	3	2.9%	6	7.8%	12	1.1%
あまり興味関心をひかれなかった	38	5.8%	32	13.6%	16	15.2%	14	18.2%	100	9.3%
少し興味関心をひかれた	354	54.0%	133	56.4%	57	54.3%	32	41.6%	576	53.7%
とても興味関心をひかれた	234	35.7%	46	19.5%	23	21.9%	5	6.5%	308	28.7%

$$\chi^2(12)=147.37, p<.01$$

WithYou+への興味関心との関連を表 6-5 に示す。先と同じく「第二志望以下で満足していない」群では「見ていない」という回答が多く、「とても興味関心をひかれた」という回答が少ないことが示された。また、「第二志望以下で満足している」群は、第一志望の者と同程度に興味関心をひかれたと評価したことも明らかとなった。また、「第一志望であり満足していない」群は「第一志望であり満足している」群よりも興味関心度が相対的に低いことも示された。

表6-5 大学の志望順位及び満足度とWithYou+への興味関心との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
受験生 向けサイト WithYou+ 見ていない	30	4.6%	28	11.9%	6	5.7%	21	27.3%	85	7.9%
まったく興味関心をひかれなかった	4	.6%	2	.8%	3	2.9%	4	5.2%	13	1.2%
あまり興味関心をひかれなかった	56	8.5%	37	15.7%	24	22.9%	20	26.0%	137	12.8%
少し興味関心をひかれた	367	56.0%	141	59.7%	55	52.4%	28	36.4%	591	55.1%
とても興味関心をひかれた	198	30.2%	28	11.9%	17	16.2%	4	5.2%	247	23.0%

$$\chi^2(12)=141.51, p<.01$$

学科サイトへの興味関心との関連を表 6-6 に示す。先と同じく「第二志望以下で満足していない」群では「見ていない」という回答が多く、「とても興味関心をひかれた」という回答が少ないことが示された。また、「第二志望以下で満足している」群は、「少し興味関心をひかれた」と答えた者が多く、「とても興味関心をひかれた」者は少ないことが明らかとなった。また、「第一志望であり満足していない」群は「第一志望であり満足している」群よりも興味関心度が相対的に低いことも示された。

表6-6 大学の志望順位及び満足度と学科サイトへの興味関心との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
見ていない	39	6.0%	30	12.7%	9	8.6%	18	23.4%	96	8.9%
まったく興味関心をひかれなかった	4	.6%	2	.8%	4	3.8%	6	7.8%	16	1.5%
あまり興味関心をひかれなかった	55	8.4%	33	14.0%	20	19.0%	19	24.7%	127	11.8%
少し興味関心をひかれた	372	56.8%	150	63.6%	57	54.3%	30	39.0%	609	56.8%
とても興味関心をひかれた	185	28.2%	21	8.9%	15	14.3%	4	5.2%	225	21.0%

$$\chi^2(12)=130.02, p<.01$$

大学 HP への興味関心との関連を表 6-7 に示す。先と同じく「第二志望以下で満足していない」群では「見ていない」という回答が多く、「とても興味関心をひかれた」という回答が少ないことが示された。また、「第二志望以下で満足している」群は、第一志望の者と同程度に興味関心をひかれたと評価したことも明らかとなった。また、「第一志望であり満足していない」群は「第一志望であり満足している」群よりも興味関心度が相対的に低いことも示された。

表6-7 大学の志望順位及び満足度と大学HPへの興味関心との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
見ていない	35	5.3%	32	13.6%	10	9.5%	21	27.3%	98	9.1%
まったく興味関心をひかれなかった	2	.3%	2	.8%	3	2.9%	6	7.8%	13	1.2%
あまり興味関心をひかれなかった	81	12.4%	38	16.1%	20	19.0%	20	26.0%	159	14.8%
少し興味関心をひかれた	399	60.9%	145	61.4%	64	61.0%	28	36.4%	636	59.3%
とても興味関心をひかれた	138	21.1%	19	8.1%	8	7.6%	2	2.6%	167	15.6%

$\chi^2(12)=129.59, p<.01$

大学ポートレートへの興味関心との関連を表 6-8 に示す。先と同じく「第二志望以下で満足していない」群では「見ていない」という回答が多く、「とても興味関心をひかれた」という回答が少ないことが示された。

表6-8 大学の志望順位及び満足度と大学ポートレートへの興味関心との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
見ていない	244	37.3%	91	38.6%	38	36.2%	39	50.6%	412	38.4%
まったく興味関心をひかれなかった	2	.3%	2	.8%	2	1.9%	5	6.5%	11	1.0%
あまり興味関心をひかれなかった	92	14.0%	37	15.7%	17	16.2%	17	22.1%	163	15.2%
少し興味関心をひかれた	253	38.6%	92	39.0%	46	43.8%	14	18.2%	405	37.7%
とても興味関心をひかれた	64	9.8%	14	5.9%	2	1.9%	2	2.6%	82	7.6%

$\chi^2(12)=54.02, p<.01$

オープンキャンパスへの興味関心との関連を表 6-9 に示す。第二志望以下の者が「参加経験していない」という回答が多いことが明らかとなった。また、「第一志望であり満足していない」群は「第一志望であり満足している」群よりも興味関心度が相対的に低いことも示された。

表6-9 大学の志望順位及び満足度とオープンキャンパスへの興味関心との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
参加・経験していない	185	28.2%	163	69.1%	26	24.8%	62	80.5%	436	40.6%
まったく興味関心をひかれなかった	3	.5%	0	.0%	2	1.9%	1	1.3%	6	.6%
あまり興味関心をひかれなかった	16	2.4%	7	3.0%	12	11.4%	6	7.8%	41	3.8%
少し興味関心をひかれた	203	31.0%	46	19.5%	44	41.9%	8	10.4%	301	28.1%
とても興味関心をひかれた	248	37.9%	20	8.5%	21	20.0%	0	.0%	289	26.9%

$\chi^2(12)=242.18, p<.01$

オープンキャンパス内模擬講義への興味関心との関連を表 6-10 に示す。第二志望以下の者が「参加経験していない」という回答が多いことが明らかとなった。また、「第一志望であり満足していない」群は「第一志望であり満足している」群よりも興味関心度が相対的に低いことも示された。

表6-10 大学の志望順位及び満足度とオープンキャンパス内の模擬講義への興味関心との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
参加・経験していない	302	46.1%	188	79.7%	50	47.6%	67	87.0%	607	56.6%
まったく興味関心をひかれなかった	8	1.2%	0	0.0%	2	1.9%	2	2.6%	12	1.1%
あまり興味関心をひかれなかった	24	3.7%	5	2.1%	7	6.7%	3	3.9%	39	3.6%
少し興味関心をひかれた	188	28.7%	31	13.1%	34	32.4%	5	6.5%	258	24.0%
とても興味関心をひかれた	133	20.3%	12	5.1%	12	11.4%	0	0.0%	157	14.6%

$$\chi^2(12)=129.58, p<0.01$$

入学後の不安との関連を表 7-1 に示す。「第一志望であり満足していない」群が「授業の難しさ」について他の 3 群よりも不安を感じる者が多いことが明らかとなった。他の項目については、「満足していない」2 群が「満足している」2 群よりも多く不安を感じていることがあきらかとなった。

表7-1 大学の志望順位及び満足度と入学後の不安との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		χ^2 検定結果
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
学業 授業の難しさ	190	29.0%	53	22.5%	44	41.9%	22	28.6%	309	28.8%	$\chi^2(3)=13.44, p<0.01$
面での 部活との両立	77	11.8%	21	8.9%	22	21.0%	14	18.2%	134	12.5%	$\chi^2(3)=12.27, p<0.01$
不安 その他	25	3.8%	10	4.2%	8	7.6%	9	11.7%	52	4.8%	$\chi^2(3)=11.26, p<0.05$
生活 人間関係	155	23.7%	55	23.3%	62	59.0%	31	40.3%	303	28.2%	$\chi^2(3)=64.27, p<0.01$
面での 精神的なこと	100	15.3%	37	15.7%	45	42.9%	29	37.7%	211	19.7%	$\chi^2(3)=61.93, p<0.01$
不安 健康上のこと	75	11.5%	25	10.6%	19	18.1%	16	20.8%	135	12.6%	$\chi^2(3)=9.22, p<0.01$
部活動	104	15.9%	32	13.6%	29	27.6%	17	22.1%	182	17.0%	$\chi^2(3)=12.38, p<0.01$

注: 表中の数字は各群においてその項目を「不安を感じるor該当する」と答えた者の人数及びその割合

将来の進路との関連を表 7-2 に示す。「不明」において「満足していない」2 群が「満足している」2 群よりも多くあげていることが明らかとなった。また、「第 2 志望以下であり満足していない群」では「進学」をあげるものが多いことも明らかとなった。

表7-2 大学の志望順位及び満足度と将来の希望進路との関連

	満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		χ^2 検定結果
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
将来の進路 専門職	450	68.7%	137	58.1%	57	54.3%	33	42.9%	677	63.1%	$\chi^2(3)=28.47, p<0.01$
企業	86	13.1%	49	20.8%	20	19.0%	15	19.5%	170	15.8%	$\chi^2(3)=9.47, p<0.05$
進学	22	3.4%	16	6.8%	3	2.9%	12	15.6%	53	4.9%	$\chi^2(3)=24.74, p<0.01$
その他	2	0.3%	0	0.0%	1	1.0%	4	5.2%	7	0.7%	$\chi^2(3)=27.43, p<0.01$
不明	27	4.1%	13	5.5%	14	13.3%	10	13.0%	64	6.0%	$\chi^2(3)=20.99, p<0.01$

注: 表中の数字は各群においてその項目を「希望するor該当する」と答えた者の人数及びその割合

相談先として知っている部署・人との関連を表 7-3 に示す。「第 2 志望以下で満足している群」が「リエンゼミ I の副担任」を他の群よりも多くあげていることが明らかとなった。また、「第二志望以下」2 群が「第一志望」2 群よりも「事務窓口」を多くあげることも明らかとなった。

表7-3 大学の志望順位及び満足度と相談先の認知されている人・部署との関連

		満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		χ^2 検定結果
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
		相談先	副担任	311	47.5%	123	52.1%	43	41.0%	27	35.1%	
	事務窓口	196	29.9%	92	39.0%	29	27.6%	28	36.4%	345	32.2%	$\chi^2(3)=8.15, p<.05$

注: 表中の数字は各群においてその項目を「相談先として知っているor該当する」と答えた者の人数及びその割合

相談した人・相談したい人との関連を表 7-4 に示す。「友人」「先輩」については、「満足している」2群が「満足していない」2群よりも多くあげていることが示された。「相談する人がいない」という回答は「第二志望以下で満足していない」群が特に多いことが明らかとなったが、「誰に相談していいかわからない」という回答は「満足していない」2群で変わりなかった。

表7-4 大学の志望順位及び満足度と学内で相談したor相談したい人・部署との関連

		満足している&第1志望		満足している&第2志望以下		満足していない&第1志望		満足していない&第2志望以下		全学		χ^2 検定結果
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
		相談する、相談したい相手	友人	580	88.5%	193	81.8%	76	72.4%	48	62.3%	
	先輩	305	46.6%	104	44.1%	38	36.2%	22	28.6%	469	43.7%	$\chi^2(3)=11.77, p<.01$
	その他	1	.2%	0	.0%	1	1.0%	3	3.9%	5	.5%	$\chi^2(3)=22.56, p<.01$
	いない	16	2.4%	12	5.1%	9	8.6%	11	14.3%	48	4.5%	$\chi^2(3)=28.00, p<.01$
	わからない	28	4.3%	9	3.8%	14	13.3%	9	11.7%	60	5.6%	$\chi^2(3)=20.91, p<.01$

注: 表中の数字は各群においてその項目に「相談した、相談したいor該当する」と答えた者の人数及びその割合

以上、表 2-1 から表 7-4 までに示した内容を簡潔にまとめる。

入学前の事項について、まず、第一志望の者は第二志望以下の者よりも多く本学の情報を WithYou や大学 HP 等のメディアやオープンキャンパス等のイベントなどから入手しているといえる。ただし、同じく第一志望であってもその中で入学後満足している者はメディアに対して強く興味関心を示し、3つのポリシー等から強く肯定的な影響を受けていることが明らかとなった。一方、第一志望であってもその中で入学後満足していない者は、興味関心の程度と3つのポリシー等からの影響度が(興味関心をもった、肯定的な影響を受けたという回答傾向であるものの)相対的にやや低いことが明らかとなった。

また、第二志望以下の者は第一志望の者よりも大学選びの際に「難易度」を重視している傾向にあったが、同じ第二志望以下の者であってもその中で入学後満足していない者は、特に「知名度」を重視して大学を選んでいることが明らかとなった。一方、第二志望で入学後満足している者は、特に「学費」の面で魅力を感じていたことも明らかとなった。そして、第二志望ではあるものの本学に対してある程度の興味と関心をもっており、オープンキャンパス等のイベントには参加していなくてもメディアからの情報は第一志望の者と同程度に見ていることが明らかとなった。そして、3つのポリシー等からも肯定的な影響を受けていることが明らかとなった。

入学目的の面では、志望順位に関わらず入学後満足している者は満足していない者よりも、「興味関心のあることを学ぶため」よりも「やりたい仕事につくため」という卒業後を見据えた入学目的を挙げており、本学で「取得できる資格・免許」を重視しまた魅力を感じて入学していることも明らかとなった。

続いて入学後の事項についてまとめる。第一志望であり入学後満足していない者は他よりも特に入学後の学業面での不安を示すことが明らかとなった。また、学内の相談先を「いない」のではなく「わからない」と回答することが明らかとなった。また、志望順位に関わらず入学後満足していない者は生活面での不安を感じており、将来の進路についても不明という回答が多いことが明らかとなった。